

ひのてまち ひのてぐらし



**HINODE
LIFE**

都心から50キロメートル圏内に位置し、人口は約1万6,000人ほどの日の出町。西部の大久野地域には日の出山やつるつる温泉、さかな園など自然豊かな観光エリアが広がり、東部の平井地区には圏央道日の出インターチェンジや工業団地、大型店舗が進出しています。人と自然が調和した、緑の豊かさが町の魅力です。

広々とした自然の中を、車で便利に買い物や通勤することが可能なエリア。自然と人とのつながりを大切にしながら、心地よい生活が楽しめる“ひのでぐらし”を始めてみませんか？

ひのでまち ひのでぐらし



生涯青春の湯・ひので三ツ沢つるつる温泉センター

- ① 日の出町大久野 4718
- ☎ 042-597-1126
- 🚌 JR 五日市線武蔵五日市駅より路線バス「つるつる温泉行き」で約20分
- 🕒 10:00 ~ 20:00 (最終受付 19:00)
- 🍽️ 食堂 11:00 ~ 19:00 / 第3火曜休み (祝日の場合は翌日)
- 🌐 <https://www.tsurutsuru-onsen.com/>

1,500メートルほど地下を掘り湧き上がった温泉で、1996年に開業した。ph10.1のアルカリ性単純泉は、文字どおりお湯に浸かると自然と肌がつるつるしてくるので、美肌の湯としても知られている。館内にあるパノラマ食堂では、目の前に広がる山々の絶景を眺めながら食事を楽しむことができる。



さかな園

- ① 日の出町大久野 3882
- ☎ 042-597-4911
- 🚌 JR 五日市線武蔵五日市駅より路線バス「つるつる温泉行き」で約15分、「さかな園」下車徒歩2分
- 🕒 9:00 ~ 16:00 / 火曜休み
- 🌐 <http://sakana-en.jp>

大自然の中、平井川に沿って広がるさかな園では、ニジマス渓流釣りやつかみどりなどを体験することができる。バーベキューも夏だけではなく年間を通して手ぶらで楽しめ、食堂も併設されている。手軽にアウトドアが満喫できる、町の人気スポット。

日の出町へのアクセス



日の出町ふれあい農産物直売所

- ① 日の出町大久野 17-2
- ☎ 042-597-0010
- 🚌 JR 五日市線武蔵増戸駅徒歩 21分
- 🕒 9:00 ~ 17:00 / 年末年始を除き無休
- 🌐 <https://life.ja-group.jp/farm/market/detail?id=584>

地元の農家が育てた採れたて野菜が並ぶ直売所。ハウス栽培で収穫される人気の「ひのでトマト」や、肉厚で香り豊かなシイタケ、夏にはブルーベリーなど新鮮な素材が揃っている。町内の福嶋牧場直送のミルクを使ったソフトクリームはしぼりたての牛乳が濃厚な味わい。チョコレートやわらびもちをはじめ、地元産の塩トマトなどの変わり種トッピングも魅力。



イオンスタイルと150の専門店 3,650台の無料駐車場完備

スポーツと文化の森
谷戸沢サッカー場

イオンモール日の出

- ① 日の出町大字平井字三吉野桜木 237-3
- ☎ 専門店街：042-588-8000
- 🚌 圏央道「日の出インター」より車で2分
- 🕒 専門店街・3Fフードコート…10:00 ~ 21:00
- 1F レストラン街…11:00 ~ 22:00
- *一部店舗によって開店時間が異なります。
- 3F 映画館…9:00 ~ 24:00
- *上映時間により営業時間が異なる場合があります。
- イオンスタイル1F 食料品…8:00 ~ 23:00
- イオンスタイル2F 衣料品…9:00 ~ 22:00
- イオンスタイル3F 子供用品・生活用品…9:00 ~ 22:00
- 年中無休
- 🌐 <https://hinode-aeonmall.com/>



交通空白地域解消のため、コミュニティバスを運行しています。乗車1回100円の運賃でどなたでも利用することができます。

子育て世代を支える制度・事業

妊娠

特定不妊治療費
(先進医療) 助成
都の医療費助成の決定を受けて
いる方に、医療費の一部を助成
(上限5万円)

妊婦健康診査
14回分補助

超音波検査
4回分補助

子宮頸がん検診
1回分補助

妊婦歯科健康診査
1回無料

両親学級 (各回参加無料)
・管理栄養士から妊娠中の栄養のお話、
赤ちゃんのお世話や沐浴指導
・歯科医師と歯科衛生士による歯のお話
・助産師から出産と陣痛の時のお話

伴走型相談支援
妊娠時、妊娠期、出産時の面談及びアン
ケートの実施

健康 / 栄養相談
赤ちゃん、お母さんにとっての望ましい
食生活などについて管理栄養士に相談
(予約制)



赤ちゃん

子どもの医療費助成
出生から18歳までの入通院
に係る医療費(保険適用分)
を全額助成

新生児聴覚検査助成
出生後1ヵ月以内に実施する検査
(上限6,000円)

新生児訪問 / 乳児家庭全戸訪問
・保健師が家庭訪問し、赤ちゃんの発育や
育児全般、お母さんの体調などの相談を
お受けします
・町の子育てサービスなどのご案内

産後ケア事業
医療機関や助産所、ご自宅などで、お母
さんや赤ちゃんの体調に合わせて助産師
によるケアを受けることができます
(出産後1年以内)

母子相談
育児についての相談を毎月実施(予約制)

ブックスタート事業
3ヵ月、4ヵ月児健康診査の対象者(親子)
に絵本を1冊プレゼント

未来わくわく支援金
出生～中学生(年代)まで子ども1人
につき毎月5,000円(年間6万円)を支給



保育所・幼稚園

(1歳～小学校入学前)



歯科健診・フッ化物塗布・
歯科相談
2歳、3歳、4歳対象

歯科健診・フッ化物塗布・
歯科相談
5歳、年長児対象

むし歯予防教室
町内保育所・幼稚園に登園する
年長児対象

私立幼稚園等園児保護者
負担軽減事業補助金
私立幼稚園などに在籍する園児
の保護者に補助金を支給



小中学校



未来旅立ち支援金
中学校を卒業する子ども
1人につき10万円を支給

給食費無償化
町立小中学校に通う児童・生徒に
提供する学校給食費全額支援

就学援助費
経済的な理由により教育費の
支出が困難な家庭に教育費の
一部を援助

特別支援教育就学奨励費
経済的な理由により教育費の
支出が困難な支援学級在籍の
児童・生徒の保護者に対し、
教育費の一部を援助

コミュニティバス無料
乗車券交付
対象区域に居住し、学校長の
承諾を得て通学する児童・
生徒に対し、無料乗車券を交付

児童下校用車両運行事業
町立小学校に通学する第1学年、
または特別支援学級に在籍する
児童を対象とした下校時の送迎

高校・大学



進学支度金貸付
経済的理由により高等学校などへ
の就学が困難な方に対し、入学時
に必要な支度金を貸付

受験生チャレンジ
支援貸付事業
一定所得以下の世帯の子どもに
対し、塾、高校や大学受験費用
を貸付

※各制度には、
税の滞納要件、居住
要件などがあります。また、
助成内容は見直されることが
ありますので最新の情報は
日の出町ホームページで
ご確認ください。

日の出町こども家庭センター「こそだち」

すべての妊産婦・子育て世帯、子どもへ一体的に支援を行うため、こども家庭センターを開設しています。子育てに関するお悩みなど、お気軽にご相談ください。

•子どもが生まれた家庭を訪問し、子育てに関する不安や悩みについての相談、情報提供を行います。
 •子育てグループ活動（ママヨガ、親子リトミック、子育てサロン）
 概ね6ヵ月以降の未就学児のお子さんとその保護者を対象に、育児に役立つ講座や親子の交流の場を提供しています。

妊娠期から出産・子育て期までの切れ目のない支援体制



住まい・しごとに関する支援

空き家バンク

空き家の利活用を通じて移住・定住や地域の活性化を目的として、空き家バンクを開設しています。空き家をお探しの方に、必要な情報提供を行います。

若者世代空き家利活用リノベーション等補助

空き家を移住・定住として利活用するためのリノベーション、リフォームなどの改修工事に対して補助金を交付します。上限 50 万円

創業支援

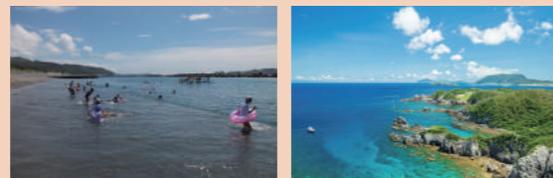
町内で新たに創業する方に、創業に必要な経費の一部を補助します。上限 50 万円
 ※各制度には要件があります。



地域間交流

新島村友好交流事業

日の出町と伊豆諸島の新島村は、平成 20 年に友好町村盟約を結び、隔年で日の出町と新島村を行き来し交流事業を行っています。新島ならではのさまざまな体験をしたり、島の子どもたちと仲良くなったりと、たくさんの思い出ができます。



三多摩は一つなり交流事業

日の出町には、三多摩地域 400 万人の廃棄物を受け入れる施設があります。廃棄物を排出する市や町と受け入れる側の町が、文化・スポーツなどの事業を通じて交流し、相互理解を深めるため毎年交流事業を実施しています。

日の出町のイベント・お祭り

日の出町には、地域の人に大切に守られてきた伝統文化が今も数多く残り、毎年開催される祭礼にも、歴史と伝統が息づいています。町の三大まつり（桜まつり、夏まつり、産業まつり）も町内外から多くの方が訪れ、親子で楽しむことができるステージや屋台も多数出店します。

1月 元旦ご来光（日の出山ほか）
 どんど焼き（平井川流域）



元旦ご来光



どんど焼き

4月 桜まつり



桜まつり

7月 夏まつり



夏まつり

8月 玉の内獅子舞



玉の内獅子舞

9月 平井まつり



平井まつり

10月 産業まつり
 スポーツフェスティバル



産業まつり

11月末
 1月 大久野イルミネーション



大久野イルミネーション



スポーツフェスティバル

*詳しい情報は、町のHPやX(旧Twitter)からご覧いただけます。



HP



X (旧Twitter)

かかわりとつながりを大切にした 日の出町の教育

保育園・幼稚園

町内には私立保育園が5園、認定こども園が1園あります。各園がそれぞれ家庭や地域と連携して個性豊かな保育を実施しており、幼児一人ひとりの成長を支える保育環境が整っています。

大久野 大正保育園

- ① 日の出町大久野 711-1
- ② 042-597-3384
- 定員 40名
- 受け入れ年齢生後6ヵ月～
- 延長保育 18:00～18:30



縦割り保育や少人数での保育による、年齢を超えた触れ合いや保護者との密接な連携により、人との関わりの中で得られる経験を大切にしています。

大久野 大久野保育園

- ① 日の出町大久野 1660-1
- ② 042-597-2006
- 定員 60名
- 受け入れ年齢生後57日～
- 延長保育 18:30～19:00



親子で楽しめるひろば『バトン』を運営し、入園前から卒園後まで、子どもの“今”と“未来”を大切に、地域と共に子どもの成長を支える保育園です。

平井 さくらぎ保育園

- ① 日の出町平井 661
- ② 042-597-3297
- 定員 100名
- 受け入れ年齢生後57日～
- 延長保育 18:15～18:45



理念『認められ 認め合う喜び』を大切に、集う誰もが理念を感じられるよう保育を行っています。セミバイキングでのランチタイムはみんなの笑顔が溢れます。

平井 さくらぎこぼん

- ① 日の出町平井 673-1
- ② 042-588-5716
- 定員 75名
- 受け入れ年齢生後6ヵ月～
- ※令和7年度からは生後57日～
- 延長保育 18:15～18:45



「大きなお家」のように、温かく家庭的な保育を大切にしています。その中で情緒の安定した生活を送り、のびのびと自分を表現できるようにしています。

平井 宝光保育園

- ① 日の出町平井 3389-1
- ② 042-597-0876
- 定員 130名
- 受け入れ年齢生後57日～
- 延長保育 18:30～19:00



散歩や探索遊びの場に絶好の自然環境を兼ね備えています。定期的に園庭、保育室を地域に開放しており、親子で遊びや給食のプチ保育園体験もできます。

平井 日の出幼稚園 (認定こども園)

- ① 日の出町平井 2209
- ② 042-597-3253
- 定員 1号認定:72名
(私立幼稚園など園児保護者補助金あり) 2号認定:18名



少人数のクラスで一人ひとりに目が届くことを基本にした認定こども園です。個々の興味関心・探求を深めたり、主体的な体験の積み重ねを基盤としています。

小学校・中学校

町内には小学校が3校、中学校が2校あります。豊かな自然を生かした学習活動、民間企業や大学など多様な主体との連携・協働の学校づくりをすすめ、特色ある教育活動を展開しています。

平井 本宿小学校

- ① 日の出町平井 1855
- 児童数 360人



自然・文化・歴史・人材など、豊かな教育資源を生かした教育を目指しています。東京大学大学院と連携した高齢者理解教育や健康・ケア教育など、地域の特色を生かしながら児童の豊かな表現力を育む取り組みを推進しています。

大久野 大久野小学校

- ① 日の出町大久野 1176
- 児童数 292人



地域人材の活用や町内施設の訪問など、地域と連携した学習活動を展開。校庭の芝生の育成活動を総合学習として位置付け、地域ぐるみで芝生を大切に守り育てる活動を通してSDGsの意識向上にも取り組んでいます。

平井 平井小学校

- ① 日の出町平井 1218
- 児童数 294人



地域支援コーディネーターを中心に、ボランティア相互の連携・情報交換・交流を促進、地域と連携した学習活動に取り組んでいます。学校近くを流れる平井川での生物観察を通して環境保全への意識を高める活動を行っています。

平井 平井中学校

- ① 日の出町平井 2654
- 生徒数 357人



思考・努力・健康を教育目標に、生徒に分かりやすい授業展開、学力向上を図っています。学校が役場近くの小高い丘の上にあり、地域と共にペイント、整備した210段の虹色あいさつ階段を上って登校しています。

大久野 大久野中学校

- ① 日の出町大久野 1559
- 生徒数 155人



日の出山や北大久野川など豊かな自然に恵まれた環境の中、少人数を生かした日々の活動を展開しています。小中連携の取り組みとして、相互の授業参観・情報共有や合同引き取り訓練、特別支援学級の交流会を推進しています。

※このほか、認可外保育施設の「自然保育 森の幼児園（日の出町大久野 2130）」があります。

2024年10月時点

2024年4月時点

実際どうなの？
移住者に聞いてみた

ひので暮らし

自然の多さ、程よい立地はもちろん、子育て世代を支える町の支援が整っている条件なども子どもを育てるのにもってこいなのが日の出町の魅力。実際の暮らしについて、移住した2組のご家族に日々の生活をお聞きしてみました。



岡崎 駿人さん・七生さん

2021年 日の出町移住

「やりたい遊びをすぐやらせてあげられる」
子どもがのびのびと元気でいられる町

夫の駿人さんは青梅市出身、妻の七生（ななみ）さんは昭島市出身と、お2人共に西多摩エリア生まれの岡崎さんご夫婦にお話を伺った。お仕事の都合で板橋区に住んでいたが、子育ては自然に囲まれた西多摩エリアでいたいと兼ねてより相談していたそうだ。

七生さんのご懐妊を機に本格的に移住へ向けて動き出し、今は4歳になる豪くんが当時1歳10ヵ月だった頃に日の出町に引っ越してきた岡崎さん一家。さらに日の出町に来てから、現在2歳の妹・柊（しゅう）ちゃんが産まれた。日の出町に来てから約3年、今では毎週家族揃って近所に流れる平井川へ遊びに行くことが習慣になっている。

「川へ遊びに行くことが多いですが、基本的には息子と娘にその日どんな遊びをしたいか聞いて、それをやらせてあげています。サワガニやヤゴを捕まえに行きたいなら平井川へ、遊具で遊びたい日には少し遠出をしてあきる野市の公園へ行っています。板橋に居た頃は家の近くの川は荒川だったので入って遊べなかったし、公園も子どもより大人の溜まり場といった感じ



取材日はサワガニを探していた豪くん。お家で育てるのも楽しみのひとつ

だったので、子どもがのびのび遊べる環境がすぐ近くにあるのはまさに思い描いていた通りでした」

お2人が日の出町に移住先に選んだきっかけは、購入を検討していた住宅メーカーが日の出町に所有している分譲地に、新しく一軒家の集合住宅街を開発したことにあった。同時期に移住してきた家族が多く、近隣の歳の近い子どもたちとの交流もあり、冬場などは薪ストーブに使うための薪を皆で集めたりするそうだ。

自然が最高の遊び相手！
緑と川にエネルギーをたっぷりもらって育つ



「日の出町は環境も良いですが、手当などの制度も充実しています」そう話してくれたのは七生さん。「子ども1人につき毎月5,000円の現金を支給してくれたり、あとは娘が産まれた時の出産祝いとして現金3万円と10万円相当のカタログをいただいたりしました。都からも10万円のお祝いがあったので、当時はとても助かりました」

行政のサポートも手厚く、何かと安心な日の出町。七生さん目線で、子どもの数が増えたらより嬉しいというポイントがあるそうだ。

「人数が少ないことは、一人ひとりと深く関わってより強い絆が出来るというポジティブな側面もありますが、単純に仲間やお友だちが増えるのは子どもにとって楽しいことなので、そうなりといいなと思います」

その他にも遊具付きの公園やパン屋があればとも口にしてきた七生さん。町に住む人たちが思い描く暮らしが実現されていくことに期待がふくらむ。

浅い川でも油断せず
安全第一に



依田 純一さん・春香さん

2021年 日の出町移住

日の出町の川に一目惚れしたご夫婦の
アートと緑に包まれた暮らし

ピアノの調律師である夫の純一さんの転職をきっかけに、横浜市から移住してきた依田さん一家。妻の春香さんもピアノの調律師で、豊かな緑の中に佇む依田さんご自宅のインテリアには、要所にお2人の芸術に対する造詣の深さが伺える絵画や小物が置かれていた。

インドアだというお2人に対して、息子の和弥（かずや）くんはアクティブでアウトドア好き。習い事は現在サッカーをしており、ご自宅の中ではクワガタやカマキリを飼っている。

自慢のクワガタと遊ぶ和弥くん



「元気な子だったから広い場所がほしかったんです。八王子近辺で探していたら、偶然日の出町が目にとまって。実際に訪れてみたら川の綺麗さに惹かれて、ここに家を建てることにしたんです」

そんな和弥くんは現在小学校3年生。日の出町に移り住んできたのは、幼稚園年中の終わり頃だった。

「自然保育 森の幼稚園の自然と遊ぶことで子どもたちの想像力と五感を活用するというポリシーに感銘を受けて、年長の1年だけでもここに通わせてあげたいと思いました。この園の子はとにかく自然の中でたくさん時間を過ごして、かまどでご飯を炊いて食べたりして。参観に行くと、園の子たちがみんな率先して動き回ったり片付けをしていて、すごく自立心が育っているんです」

日の出町での子育てを振り返る中で、ご夫婦共々子どもたちの主体的でいきいきとしている在り方を嬉しそうに語ってくれた。

細部までこだわって作り上げた
世界でひとつのマイホーム



ピアノの調律をされる純一さん。グランドピアノは中身が引き出せるそう



日の出町に移住した暮らし心地を伺うと、「もっと不便だと思っていました。実際は車さえあれば町内の用事は何も困りません。趣味の観劇はやはり東京で開催されるものが多くて、それらも日帰りで行けるので本当に困っていませんね」と、純一さん。空き家などを活用した芸術家支援があればもっと素敵になると、お2人ならではの視点で日の出町の未来への理想も教えてくれた。そんな純一さんはこの度独立し、より日の出町を拠点とした生活を送っていくことになるそう。純一さんの活動がアートを嗜む移住者のきっかけとなっていけば、日の出町が音楽や絵画を身近に感じられる場所になっていくに違いない。



東京都の多摩・島しょ地域への移住を
ご検討の方に便利なポータルサイトと相談窓口

東京たましま
移住定住ポータルサイト



東京多摩島しょ
移住定住相談窓口



日の出町子育てガイドブック

日の出町 企画財政課 企画係
〒190-0192 東京都西多摩郡日の出町平井 2780 番地
TEL 042-588-4117
<https://www.town.hinode.tokyo.jp/>
2024年12月発行